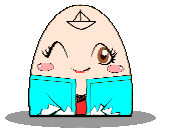




ソーシャルワーカーデイ☆レポート



開催日：7月16日（祝）海の日

会場：同志社大学 臨光館301教室

今年の「ソーシャルワーカーデイ」は前日までの梅雨空が嘘のようなカンカン照りで、「海の日」に相応しい暑さとなりました。そんななか、本会のスクールソーシャルワーク委員会の寸劇が見られるということを知り、休日にふらりと足を伸ばした私の「レポート」(?)といえるものではありませんが、感想をお伝えできればと思います。

スクールソーシャルワーク委員会の皆さんの入念なりハーサルを見学し、いよいよ開始時間の15時。気がつけば教室は学生さんでいっぱいです。

『スクールソーシャルワーカーの仕事』について、分かりやすい寸劇仕立てのレクチャーが始まります。

SSWとは何をする仕事なのか、どういった立場でどのような目的を持って仕事をされるのかが、具体的なストーリーと合間に入る説明で現場を知らない私の頭にもスムーズに入ってきます。

学生さんにとっても、直接に目にするのが難しい現役ワーカーの仕事を臨場感を持って知ることのできる貴重な時間になったのではないのでしょうか。

中学生役で特別出演をされた空閑先生の熱演もあり、寸劇は大成功となりました。委員の皆さんによる巡業公演も夢ではないかもしれません。



寸劇でSSWのことを教えてもらった後は、長澤委員長と林理事による「京都府」「京都市」のSSW事業についての説明が行われました。

お二人のお話でそれぞれの自治体の取組み方、体制の違いなどを知ることができました。



プログラムの最後は、京都社会福祉士会、京都精神保健福祉士協会、京都医療ソーシャルワーカー協会の活動紹介でした。それぞれの専門性や会の特色が出た楽しい紹介となりました。

本会青年部の皆さんが色鮮やかなアロハを羽織り、軽快な音楽とスライドで会の紹介や自分の職場のことをお話されている姿は、学生さんに目指す先の身近な先輩として深く印象づけられたと思います。

ソーシャルワーカーデイの催しは今年で4回目ですが、こうした機会を体験された学生さんが将来社会福祉士として活躍される日を心待ちにしております。

そして、新しい仲間として事務局でお会いできるその日を楽しみにしています。